



舗装会館のご案内

至日光 日光街道
県立体育館 ● 競輪場通り
清土通り 中央警察署 ● 競輪場 ● 田原街道
昭和小学校 ● 八幡山公園 ● 宇都宮商業高校 ●
とちぎテレビ ● 県庁 ●
至大谷 裁判所 ● 県総合文化センター ● 二荒山神社 ● 至宇都宮駅
大通り ● 水戸街道
市役所 ●

一般社団法人 **栃木県舗装協会**

〒320-0032 宇都宮市昭和3丁目1番26号
栃木県舗装会館

TEL.028-622-6082 FAX.028-625-2539
http://www.tochihokyo.com/ e-mail. tochihokyo@mte.biglobe.ne.jp

表紙写真「手筒花火」(撮影日 2019年7月23日)



益子町の夏祭り「手筒花火」は毎年7月23日に打ち上げられます。
「手筒花火」は東三河地方を代表する伝統的な民俗行事で、徳川家康が天下統一の後、17世紀初めに花火を打ち上げたのが始まりと伝えられています。
私も数年前からこの日を心待ちにしカメラを持って出掛けております。
今回の主役はこちらの「女性2人」。全身に熱い火の粉が降り注ぐ中、瞬きひとつせず立ち続けている姿は凛として見とれてしまいます。
我々建設業界でも「けんせつ小町」や「とちぎ女性活躍応援団」等、建設産業における女性活躍推進に全力で取り組まさせていただきます。
高校生の就職活動も始まり当社にも学生の顔をちらほら見かけました。
その中に現場業務を希望してくれている女性がいて聞き、とても嬉しく楽しみです。

撮影者/飯塚 剛史(渡辺建設株式会社)
カメラ/CANON EOS-1D X Mark II
レンズ/CANON EF100-400mm F4.5-5.6L IS II USM
Tv0.3 AV 18 ISO 100



寄稿のページ

思いついたこと

舗装と生活

八溝地域のシカ

今時の農業農村整備…令和の時代へ

感謝感謝の毎日



ごあいさつ	一般社団法人 栃木県舗装協会 会長 岩澤 理夫	1	
寄稿のページ	思いついたこと	栃木県県土整備部次長 鈴木 伸一	2
	舗装と生活	栃木県県土整備部参事 兼宇都宮土木事務所長 竹中 弘幸	4
	八溝地域のシカ	栃木県環境森林部 参事兼県北環境森林事務所長 菊地 眞一	6
	今時の農業農村整備…令和の時代へ	栃木県農政部 上野原農業振興事務所 農村整備部長 池田 勝浩	8
	感謝感謝の毎日	那珂川町副町長 内田 浩二	10
新代表者紹介	株式会社谷黒組 代表取締役社長 谷黒 公重	12	
若手技術者からのメッセージ	佐藤建設工業株式会社 高塩 賢二 宇都宮土木工業株式会社 山口 翔	13	
技術のページ	電磁波レーダーを活用した 橋梁調査技術の紹介 二チレキ株式会社 関東支店 技術課 高内 麻美	14	
令和元年 知事表彰	岩澤建設株式会社	16	
	渡辺建設株式会社	17	
令和元年優良建設工事 技術者表彰	株式会社高久組 渡邊 勝徳 東武建設株式会社 福田 光夫	18	
	岩原産業株式会社 菊池 悟史 増山工業株式会社 菅野谷清一	19	
とちぎ建設ネクストマスター表彰	岩澤建設株式会社 坂田 駿 山本建設株式会社 和氣 裕介	20	
令和元年 優良安全管理 現場代理人表彰	株式会社増淵組 南波 領一 磯部建設株式会社 関 志津雄	21	
	神谷建設株式会社 福田 守 小平興業株式会社 荻原 由久	22	
	桜岡建設株式会社 櫻岡 匡一 株式会社薄井土木 室井 晴貴	23	
	一般国道408号 宇都宮高根沢バイパス	24	
大規模完成工事	日光宇都宮道路 篠井インターチェンジ	25	
	主要地方道 宇都宮向田線 (大塚工区)	26	
一般社団法人 栃木県舗装協会の 事業概要	1. (一社)栃木県舗装協会 通常総会 2. 舗装施工管理技術講習会 3. 安全衛生大会・安全衛生セミナー 4. 暴力対策連絡大会 5. 技術研修会 6. とちぎ建設技術センターによる研修(舗装技術) 7. 道路環境美化活動(愛ロード事業) 8. 道路の現況調査 9. 永年勤続優良従業員表彰 10. 平成30年度第1回安全パトロール 11. 平成30年度第2回安全パトロール 12. 舗装三県合同協議会 13. 各種委員会正副委員長名簿	27	
一般社団法人 栃木県舗装協会 会員名簿		36	
一般社団法人 栃木県舗装協会 会員		38	
関連団体の動き	1. 栃木県アスファルト合材協会 定時総会 2. 一般社団法人日本アスファルト合材協会 北関東ブロック連絡協議会第31回大会	40	
栃木県アスファルト合材協会 会員名簿／工場一覧		41	
編集後記		43	

昨今、自動車運転中のとりわけ高速道路でのいわゆる『あおり運転』の危険・凶悪な事件が頻発している。この夏、幾つかの高速道路を騒がせた同一ドライバーによるものは、今までにない“異常性”が際立った事件だった。被害者側からすれば、理不尽極まりない危険な目に遭わされたのだから、誠に気の毒としか言いようがない。

只、命を脅かされることに“唯々諾々”と我慢もしてられない。対策としては、速やかにかつ肅々と次のPAか、SAへ逃げ込み、そしてドアはロックするのが良いそうだ。また、遭遇回避運転心得(マナー)としては、通常走行時は左側走行を守り、追い越し時のみ右側車線を使い、その後は速やかに左側車線に戻ることが、基本形か？

これらのニュースを耳にした時、即座に“AI自動運転”と“ドライブレコーダー”が浮かんだ。自動運転は車に命令する人によっては、何も解決しないということも考えると、“ドライブレコーダー”が、「唯一自己防衛の強い味方か」と納得する次第。

小生も、後付けながら、“ドライブレコーダー”をディーラーに注文して二週間、今か今かと連絡を心待ちにしている今日この頃である。

広報委員長 磯部 尚士(磯部建設株式会社)

広報委員長 磯部 尚士 磯部建設(株)	副委員長 遠藤 充正 岩澤建設(株)
沼尾 善夫 磯部建設(株) 森 孝信 神谷建設(株) 阿久津 太 (株)中山建設 藤島 崇 (株)浜屋組 平塚 学 (株)増淵組	丸山 隆重 (株)丸山重機 増山 邦夫 増山工業(株) 伊東 啓太 山本建設(株) 高橋 福雄 渡辺建設(株)

お願い・お知らせ

会員の皆様や、本誌をご覧の方々からの、ご意見・エッセイ・表紙用写真などの、ご投稿をお待ちしております。いつでも何でも結構です。機会をみて順次掲載させていただきますので、宜しくお願い致します。



A greeting of the chairman



一般社団法人 栃木県舗装協会

会長 岩澤 理夫

日頃より関係機関の皆様方には、私ども協会運営に対しまして、温かいご指導、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。また、会員の皆様方には、協会活動に積極的にご参加ご尽力を頂きまして誠に有難うございます。

さて、我々建設産業界を取り巻く経営環境は、まだまだ先の見通しがつけにくく、実感としては厳しい状況にあります。政府の前向きな経済政策、特に今年度は国土強靱化等への緊急対策費や重要構造物の老朽化対策費として7兆円強、前年比20%増もの事業費が予算化され、また来年7月には「東京オリンピック・パラリンピック」が、更に3年後には「いちご一会とちぎ国体」等が開催されることから、我々地方の建設業界にあっても、景気回復の兆しは順調に進んで来ているものと思慮致しているところであります。

また、栃木県では「とちぎ元気発信プラン」のもと、災害に強いとちぎの基盤づくりや産業の振興など、とちぎを元気にする取組みが積極的に推進され、特に道路部門では「災害時の避難路や支援物資の輸送路」の整備、更には緊急時にあっても安全・安心な通行路が確保されるよう「道路舗装の長寿命化修繕計画」に基づき、効率的、効果的な修繕工事を行っていくとのことで、昨年度は前年度に比べて27%増もの舗装工事を発注して頂きました。これはひとえに県議会の皆様、そして、知事を始めとする県当局の皆様方のご尽力の賜物と深く感謝しているところであります。

なお、私達協会員はこのような状況に対応するため、今後とも舗装工事の専門業者として経営力の向上を図り、優れた舗装技術の習得・技術者の育成、更には、事故防止と安全確保、環境対策などの充実を図るとともに、災害時等の緊急支援をはじめ、社会貢献活動にも積極的に取り組み、舗装協会員としての存在をより一層高めるよう努めて参りたいと存じます。いずれにいたしましても、建設産業界を取り巻く環境は、「国土強靱化法」や改正品確法等いわゆる「担い手三法」が成立、施行され、更には、「働き方改革・生産性改革」と言った法律が制定されるなど、大きな変革の時期に来ておりますので、私達協会員はより一層の相互信頼を深め、会員一同切磋琢磨する中で、この事態に対応して参らなければならないと思っております。関係官庁を始め関係団体の皆様には今後とも温かいご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

Contribution

寄稿

思いついたこと

栃木県県土整備部 次長

鈴木 伸一



Pavement なんと素敵な、ことは、響きでしょう！

ペーブメントと聞くと、The ALFEEの曲「恋人たちのペーブメント」が思い浮かびます。恋人たちが愛の言葉を語りながら、寄り添って手を繋いで舗道を歩く素敵な光景が頭をよぎります。マイクを持つと、“メリーアン”の方が得意ではありますが……。若者の皆さんには、ちょっと古い昭和の曲を紹介してしまいましたね。すみません。

昭和といえば、私が小学校低学年当時の私が生まれ育った日光市では、国道119号や国道120号などのメインストリートはさすがにアスファルト舗装でしたが、路地や裏通りなどはまだ砂利道でした。雨の日や雨あがりには、走り去る車に、水たまりに溜まった泥水をかけられたものです。その後、アスファルト舗装が普及し、今ではほとんどの生活道路はアスファルト舗装がなされていますが、それでも雨の日や雨あがりには、車が猛スピードで轍や窪みに溜まった水をはねて走り去っていく状況です。雨の日はもちろん普段から安全で優しい運転を心がけてもらいたいものです。そして私たち土木技術者は、轍や窪み、そしてクラックが無い道づくりを実践していくことが使命ですよ。



宇都宮市宿郷

ところで、最近、道路を走っていて気付いたのですが、車道部のマンホール部の舗装復旧方法が、近年は円形でそれもマンホール直径の2倍の範囲で舗装復旧を行っています。四角形で復旧するとどうしても角の部分に破損が生じますが、この方法であれば破損を最小限に抑えることが可能であると思います。技術には発想も大切だなと感心しました。



サッカー場周辺ウォーキングコース

歩道部については、切土盛土に関係なく、(凍上抑制層は除いて)路盤厚10cm、アスファルト舗装厚3cmで施工しているのが現状です。これからは歩道の路床部の地質の状態を決めていくことも必要ではないかと思っています。歩行者なので荷重での解析は難しいと思いますが、例えば、骨材径の3倍程度、路盤厚15cm、舗装厚4cmとか・・・。

思いのままを書いてしまいましたが、ともあれ、日本経済の発展を担う道路、そして恋人たちや友人・家族が安心して安全に行き来できる魅力ある歩道の整備・維持について、皆さんと共に知恵と発想を大切にしていきたいと思いますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。



Contribution

寄稿

「舗装と生活」

栃木県県土整備部参事 兼宇都宮土木事務所長

竹中 弘幸



原稿依頼をいただき、さてなにを書いたものかと考えながら、昨年度の第43号の赤上尚さんの「暑い夏の記憶」を読んでいるうちに、いろいろと昔の風景を思い出しました。

自分は昭和34年旧日光市の生まれで、当時まだいろいろと昔の生活が残っていました。市内の国道には市電が走っていて、市電の旧線路があった下河原の市道は、まだ舗装されておらず、古いレールが埋まったままで、表面が路面に顔を出して光っていました。土の道路は、雨が降るとあちこちに水たまりができ、雨降りの日は長靴で、わざと水たまりに入って遊びながら登校していました。母方の祖母が野菜を背負い、裸足に下駄で山際の道を通って来てくれる時には、玄関に洗い桶を出して、足の土をぬぐいながらの雑談があり、それから上がってもらったものです。

昭和30年代は、電話も近くのお店にしかなくて、電話があると、お店のおばさんが近所の家に呼びに走ってくれていました。自家用車を持っている家などほとんどなく、材木運搬の馬車がまだ現役で走っていて、親戚がトラックに乗ってくると、皆で運転席を見に行っていたものでした。



一般国道119号日光橋(手前)と神橋：市電の橋がこの2橋の間に架かっていた。



かつての市電を模した塗装の東武路線バス

そのうちに、白熱電球が蛍光灯に変わったり、薪だった風呂が石油に変わったりして、小学生の昭和40年代になってからは、めまぐるしく生活が変わりました。身近な道路が舗装されはじめたのと、車が急激に増え始めるのとは、同じ時期だったように思えます。バスも増え、市電が廃止されました。いつのまにか参道の「お乞食さん」もいなくなり、朝の納豆売りのお兄さんも、雀やカエルの足やシマヘビ（いずれも食用です）などを売る人も、正月におしろいを塗って女物の着物を羽織って祝いの言葉を述べて歩く人もいなくなりました。もう、玄関に洗い桶を出すこともなくなりました。

中学生のころには日光宇都宮道路の工事も始まり、道路網が整備されていきました。しかし、これらの道路も東日本大震災で一変しました。崩落や落石等の被害を受けなかったところでも、路面はそこで波打ち、段差が生じ、度重なる余震で緊張の毎日でした。この震災を境に「心から笑ったり楽しんだりができなくなった」という会話も交わされました。それから8年以上の歳月の中、あちこちで復旧・修繕工事が実施され、お陰様で、ずいぶんと路面も以前の状態に近くなってきたと思います。もちろん備えも必要ですが、道路の復旧とともに、人の心の平穏が戻ってくればと願っています。

Contribution

寄稿

八溝地域のシカ

栃木県環境森林部
参事兼県北環境森林事務所長

菊地 眞一



本県の森林は収穫期を迎えているにもかかわらず、林業の収益性の低下などにより、皆伐(収穫として一定区域の木を全て伐採すること)が久しく行われず、「植えて、育てて、伐って、また植える」という本来の林業のサイクルが止まっていたことにより、高齢級の森林が多く若い森林が極端に少ない偏った資源構成となってしまいました。

こうした中、将来にわたり、「森林を健全な状態」に保ちながら、「木材を安定的に供給」し、「林業の成長産業化」を図るためには、この高齢級化した森林を「皆伐・再生林」して若返らせ、「林業のサイクル」を取り戻し、「森林資源の循環利用」を推進していくことが大変重要です。

林業サイクルと森林資源の循環利用



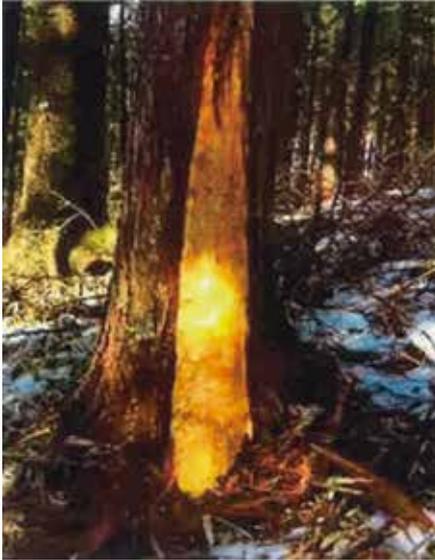
「令和元年版森林・林業白書」より

一方、本県の野生鳥獣による農林業被害は甚大であり、ここ数年は若干減少傾向にあるものの、平成30年度の農林業被害額は約4億円にのぼり、深刻な状況が続いています。特に、イノシシは県内ほぼ全域に生息しており、農作物被害は、イノシシによるものが約半分を占めています。また、林業にとっては、ニホンジカ(以下「シカ」と記載)及びクマが被害の中心です。ニホンジカ、クマともに森林の成木の皮を剥ぎ枯死させてしまいます。更にニホンジカは植栽した苗木を食べてしまい、せっかく植えた苗が数日のうちに全滅してしまう始末です。

特に、県西部で被害が大きく、植えた苗を守るため、柵やネットを張り巡らせたり、忌避剤を塗布したりと、大きな負担増となります。このため、皆伐して植栽しようという経営意欲を失ってしまう森林所有者が多くなっています。

狩猟や有害獣捕獲により、捕獲を進めています。思うように生息数が減っていないのが現状です。

シカによる剥皮被害



クマによる剥皮被害



シカによる食害



八溝地域には、シカもクマも、もともと生息していませんでしたが、ここ数年、シカの見撃情報や捕獲が散見されるようになってきました。まだ目立った被害は出ていませんので、今、なんとしても定着を阻止しなければなりません。シカが定着し、被害が大きくなる再生林の負担増などにより、八溝地域が他地域に比べ最も進んでいる「皆伐・再生林」の取り組みを阻害することになってしまいます。そして、このことは林業被害にとどまらず、森林が荒廃し森林の様々な機能の低下を招くことにもなるのです。

このため、平成29年に、八溝地域へのシカ生息拡大阻止に向けた「県東地域ニホンジカ対策協議会」、平成30年には、県北地域の鳥獣被害の情報共有や課題解決を図るため「県北地域鳥獣被害対策連絡会議」を設置し、関係機関等の連携した取組を推進するとともに、鳥獣管理士の派遣などによる地域ぐるみの対策を行う「とちぎ獣害対策アドバイザー派遣事業」等を活用した地域ぐるみの対策など、様々な取り組みを促進しているところです。

皆さんも、「林業の成長産業化」のみならず、「美しいとちぎ」を守るため、「八溝地域にシカが侵入することの意味」をご理解頂き、是非、シカの見撃情報の提供や捕獲などにご協力くださいますようお願いいたします。

Contribution

寄稿

今時の農業農村整備… 令和の時代へ

栃木県農政部
上都賀農業振興事務所 農村整備部長

池田 勝浩



農政部枠での寄稿依頼が私に回ってきましたことは大変光栄に思います。せっかくの機会ですので、現在当事務所でも主要事業として実施しているほ場整備事業を中心に今時の取組等について紹介させていただきます。

私が農業土木職として入庁以来30数年が経過しますが、「土地改良事業」が「農業農村整備事業」と呼ばれるようになり、その内容も時代の要請に応じ変化してきました。

【地域の営農構想を実現する農業生産基盤の整備】

農業者の減少や高齢化により担い手不足が深刻となる中、特に未整備地域では農地の借り手がなく耕作放棄となるケースが増えています。整備するにも、事業費負担がネックとなり地域がまとまらないのが現実でしたが、担い手への農地の集積率に応じ地元負担を軽減できる制度が創設・充実され、近年は整備要望が増えつつあります。

○日光市山口地区の整備状況(下部は整備後。次年度に上部を整備。)



○スーパー大区画ほ場での無人トラクターの実証試験(耕起作業:下野市武名瀬川地区)



推進にあたっては、ほ場整備の構想段階で農業者や地域住民のニーズを踏まえ、概ね10年後の姿を展望した地域営農構想を作成し、事業計画に反映できるよう進めています。

ハード事業が優先された時代と違い、将来の担い手の確保・育成や営農計画づくりに地元農家や関係機関が一体となり、農地の集積・集約化や高収益作物の導入推進等について、時間をかけて取り組んでいます。

整備の種類も多様化しており、従来の未整備区域の整備のほか、再整備による更なる大区画化や、畦畔除去による区画拡大等、地域の状況・課題に合わせた整備が県内各地で行われています。

また、県では更なる低コスト化を目指し、約3ha規模のスーパー大区画ほ場の導入や自動給水装置、ICTを活用した水管理の省力化システム等の新技術の導入も推進しており、実証ほ場を設け、農作業時間の比較検証やGPSを活用した無人トラクターや田植機の作業の実証、スマホによる水管理の実証等に取り組んでいます。

今後も農業農村整備事業を契機に、「稼げる農業」が展開され、「棲みよい農村環境」が整うことにより、子供たちに夢を与え、人を惹きつける魅力ある農業・農村の実現に少しでも近づければ幸いです。

Contribution

寄稿

感謝感謝の毎日

那珂川町副町長

内田 浩二



今年3月、38年間にわたり県民はじめ多くの皆さんにお世話になった県庁を退職。同4月に、生まれてから大学時代の4年を除く57年間、お世話になっている那珂川町(旧馬頭町)に再就職しました。

まもなく半年が経ちますが、変化と新鮮な毎日であっという間に通り過ぎていった感があります。通勤時間が往復で3時間以上あったのが、今は30分足らず。在宅の時間、趣味の園芸(農業)や家族との時間が大幅に増え、朝に夕に職住近接の効用を満喫しています。働き方改革の基本はこれだと改めて実感しています。晩酌だけは変わらず早い時間から毎日楽しくいただいています。

さて、那珂川町では副町長として、福島町長が就任以来「この町をもっと明るく、もっと元気に」という思いで進めている「町のひと・もの・自然が融和し、みんなが手を取り合い、元気を生み出すまちづくり」を着実に推進し、安全・安心で住みやすい町の実現に尽力していきたいと考えています。

特に、災害や事故等の危機管理に対しては、東日本大震災への対応など、これまで学んだ防災や免災の視点から、日常・平時より時間感覚を持って、ソフト・ハード両面から総合的かつ臆病側で備えていきたいと考えています。



飯塚邸ホテル内部

また、人口減少・超高齢社会進展のトップランナーグループともいえる本町においては、地域の活力やコミュニティの維持が喫緊の課題となっています。今年度は、民間活力を活用し、町の総力を結集した「子育て支援住宅」建設や、農家民泊やリノベーションまちづくりを手がける企業による「旧飯塚邸を中心に街中全体で機能する“まち宿”」の開業など重点プロジェクトが進んでいます。

更には、生活や産業等地域振興を支える道路や上下水道の高齢化対策も急務であり、道路・舗装や上下水道等の不具合は、町民の命を守るために日々しっかり点検しながら応急的な対応を含め、町民目線で各業界はじめ関係者とともに速やかに計画的に対応していくことが極めて重要と考えているところです。

結びに、この半年の目まぐるしい状況変化の中、我がふるさとの中で、家族はじめ多くの方々にお世話になりながら、かつて祖父が酔うと気持ちよく語っていた「感謝感激 雨あられ」(いろいろな意味がありますが)の言葉を思い出しつつ、一日一生の想いで感謝感謝の毎日です。皆様方には、美しい那珂川や八溝の山々の豊かな幸をもっておもてなす那珂川町に是非足をお運びください。



子育て支援住宅(完成イメージ)



株式会社 谷黒組 代表取締役社長 谷黒 公重
New representative

昨年8月1日に代表取締役社長に就任致しました。あっという間の一年数ヶ月でしたが、お取引先様はじめ地元や業界の皆様方のご厚誼のお蔭でつつがなく役目を果たしております。改めて御礼申し上げます。

さて、昨今はアベノミクス効果が感じられないまま景気動向も先行き不透明になってきました。社会の枠組みの変化は私達にも及んで来ており、事業量及び労働力の不足に加え「働き方改革」は現場への縛りとなって経営環境をより厳しくしています。

地域を活動の場としている私達も、今まで通りやっていたら成長出来なくなります。業界は技術革新だけでなくビジネスの仕組みやプレーヤーの変更など大きく変わるかもしれません。「不確実性」を与件として捉えねばならないと思います。そして政治や景気のみならず自然災害もまた不確実性の最たる事象です。

当社は、どのような不確実性に直面しても本業を通して『地域を守る』ことが企業としての存在意義と認識し、その為に行動することを基本方針としています。『地域を守る』ために「明るく緊張感のある」人材集団を作り上げていく所存です。皆様方におかれましては今後とも、相変わらぬ温かいご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

以上

10年を振り返り思うこと

佐藤建設工業株式会社

高塩 賢二



私は建設業に携わり10年になります。今回このような機会をいただき今までを振り返るいい機会と思い、寄稿させていただきます。

私が建設業を選んだきっかけは、テレビでブレーカーを使用し、道路を壊すCMを見て何となく憧れを持ち、体力に自信もあったため建設業を希望したのを今でもはっきり覚えています。

いざ入社してみると、体力だけでは仕事にならないことを痛感しました。なぜなら、先輩方は「勉強ができないから建設業をやっている」とおっしゃいましたが、仕事をする姿は常に計算をし、常に先を把握しているという、頭を常に回転させないとできない仕事だったからです。

以前、何もわからないままとある現場を任されることになり、毎日必死に考え、夜も眠れず、時には先輩方に厳しく叱られる日々に何度も挫けそうになった時があります。しかし、その工事が無事に竣工したときその経験が自分の仕事に対する考え方や見方を変えるきっかけとなりました。

私は今現在ICT施工を担当しています。まだ施工回数は少ないですが、確実に実績は上がってきています。将来的にはICT施工が当たり前となることを目指し、今後も取り組んでいきたいと考えています。まだまだ仕事は未熟者ではありますが、先輩方に認められ、後輩たちを引っ張っていけるような技術者になれるよう、今後も技術の研鑽に励んでいきたいと思っています。

より良い技術者になれるように

宇都宮土建工業株式会社

山口 翔



私が現在の会社に入社してから10年が経ちました。入社当時は、学校で学んだことを活かしながら測量などを行い、机上では解らない部分を先輩方に教えていただきました。また、円滑な現場の進め方や、より良い作業環境を作る考え方も教えていただき、入社3年目には、初めて現場を任せ、自分一人の力で現場を進めていく大変さを学びました。

その後も、現場では毎回悩みや、苦勞も絶えませんが、工事が完成するたびに、大きな達成感、充実感を味わえることで、建設業の面白みを感じております。

私自身、まだまだ未熟ではありますが、これまでの様々な経験や先輩方の教えを実践することで、技術力の向上を目指しています。また、情報化施工などの新しい技術を逸早く覚え、社員に技術を広めていく事が、私の役目だと思っています。

これまでの経験を活かしながら、最先端の技術も取り入れ、技術者としてのスキルアップに努め、先輩や後輩たちから、頼られるような技術者になりたいと思います。

電磁波レーダーを活用した 橋梁調査技術の紹介



ニチレキ株式会社 関東支店 技術課

高内 麻美

1. はじめに

橋梁の長寿命化を図るためには、床版の劣化・損傷を早期に発見し、適切な修繕を行うことが望ましい。しかしながら、供用中の橋梁については、床版上に既に舗装に覆われているため、床版上面付近の劣化・損傷を確認するには目視では困難である。よって、現実としては、舗装修繕時に切削してから新たな損傷が発見され、問題となる事例が多々報告されるようになった。このような状況から、非破壊で事前に損傷状態が把握可能な調査技術が求められるようになった。

本報告では、上記の問題や要望を解決するために開発した、車載式電磁波レーダーシステム(床版キャッチャー)について紹介する。

2. 床版キャッチャーの特徴

床版キャッチャーは、車載式の電磁波レーダーシステムであり、走行しながら計測するため、交通規制することなく、非破壊で調査を行うことができる。

また、車両前方に搭載したカメラにより、路面画像を同時に撮影しているため、路面の損傷(ひび割れやパッチング等)と内部の損傷位置を照らし合わせることが可能である。



写真-1 床版キャッチャー

3. 電磁波調査のしくみ

電磁波は、アスコン層と床版の境界・床版内部の鉄筋等、電磁氣的性質(材質)の異なる境界面で反射し、アスコン層と床版が十分に密着している健全な床版は、強い反射エネルギーを示し、反射波形は大きくなる。一方、土砂化などにより、アスコン層と床版が密着していない床版は、反射エネルギーは健全部と比較して弱くなり、反射波形は小さくなる。これらの性質を利用して床版上面付近の損傷有無等を確認する。



図-1 電磁波調査のイメージ

4. 調査結果例(損傷個所の抽出例)

RC床版で損傷と思われる箇所を抽出した結果例を図-2に示す。赤枠はアスコンの砂利化や床版の土砂化等の重篤な損傷が疑われる箇所、黄色枠は赤枠ほどではないが、損傷が疑われる箇所である。

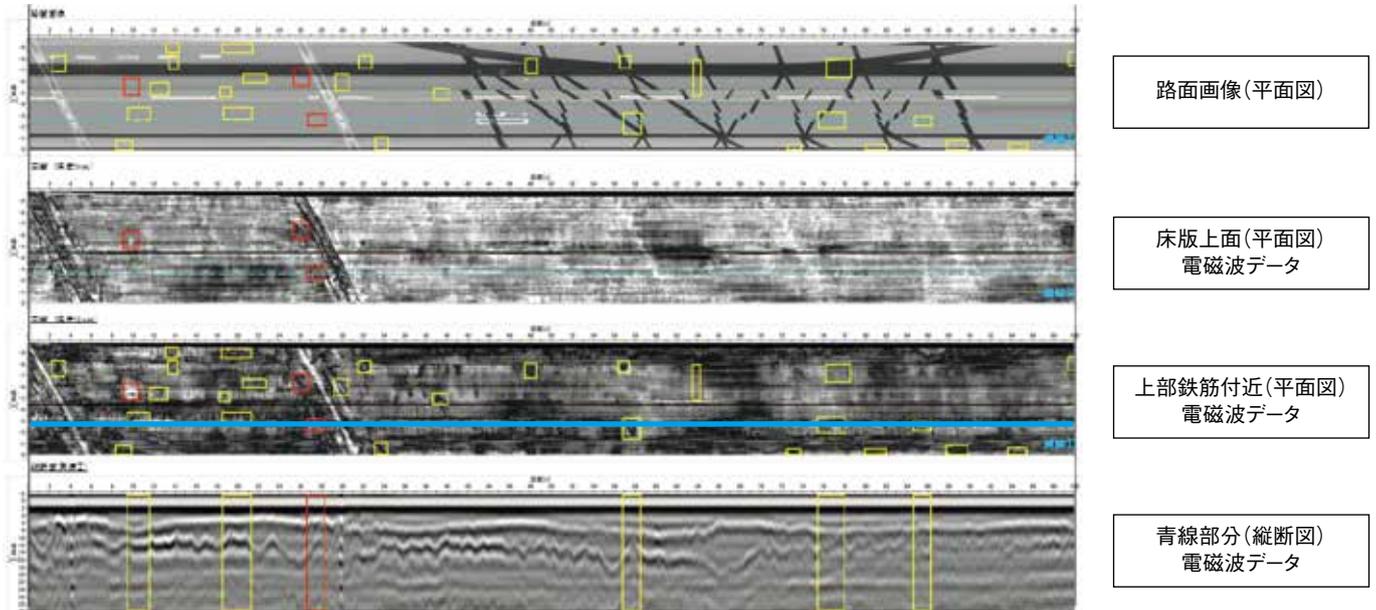


図-2 調査結果例

また、上記以外に本調査により以下の①～④を把握することが可能である。

- ① 舗装厚(RC床版,鋼床版)
表層+基層のアスコン厚
- ② かぶり厚(RC床版)
上部鉄筋からのコンクリートのかぶり厚
- ③ 溶接版の位置(鋼床版)
- ④ ボイド管※の位置・浮き上がり(中空床版)

※ボイド管とは、中が空洞になった円筒状の管であり、この管を床版内に配置することで橋の軽量化を図ることができる。

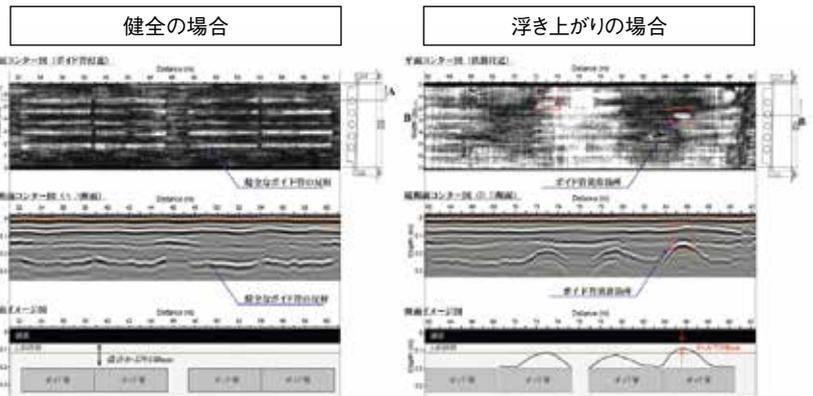


図-3 ボイド管の位置、浮き上がり例

5. 留意点

本調査技術は、電磁波を使用しているため、その性質から以下の点に留意する必要がある。

・調査範囲(深度)

電磁波は鉄に強い反射を示すため、鉄筋の下は不明瞭となる。よって、調査範囲(深度)は、RC床版では舗装面～床版の上部鉄筋、鋼床版では舗装面～床版上面となる。なお、SFRCも鉄(鋼繊維)が含まれるため、鋼床版と同様となる。

・降雨(水の影響)

電磁波は水にも強い影響を受けるため、降雨により水が介在してしまうと、正確な反射が得られない。よって、降雨後24時間以上経過してから計測することが望ましい。

6. おわりに

今回紹介した調査技術は、「橋面舗装・床版上部非破壊調査システム(床版キャッチャー)」としてNETISの活用技術として登録されており、今後期待されている技術である。

今後全国的に建設後50年を超える老朽化した橋梁は急増していくことが判明しており、適切な維持管理を行っていくための調査技術として、本技術が活用されることに期待したい。



舗装工事 桐生岩舟線その2(快安道補) 施工会社／岩澤建設株式会社

知事表彰 受賞現場に ついて

この度は、当社の舗装工事が令和初となる栄えある知事表彰を受賞させていただけた事を、大変光栄に感じております。

当事業は、平成23年度より整備に着手し、足利市と佐野市中心街を結ぶ重要な幹線道路である桐生岩舟線に位置する白旗橋の架け替え工事と、それに付随する取付道路などを大幅に拡幅し、渋滞解消を目的とした工事です。白旗橋自体が供用開始から80年以上が経過しており、老朽化が著しく幅員自体も小さかったため右折レーンが確保できず渋滞が慢性化していたため、地域住民の方々の改修の要望も大きく非常に注目される事業でした。

施工においては、白旗橋の架け替えは供用しながらの施工のため、分割施工を可能とする鋼床版が採用されております。それに伴い舗装も通常の合材ではなくグースアスファルト舗装を基層に施してあります。通常の舗装以上に温度管理を厳格にし、水分や不純物が床板と基層の間に入らない様に細心の注意を払いました。また、先に述べた通り橋梁が分割施工のため、接合部分での継ぎ目に段差がつかないように丁寧な施工を心掛けました。

今回の当社の舗装工事で、長年にわたる事業も無事完了となりました。これも地元の皆様のご協力や発注者様のご指導、協力業者並びに隣接施工業者の皆様のご尽力があつてのことと感謝を申し上げます。これからも安全と品質にこだわった地域のための社会基盤の整備に貢献していきたいと思っております。

今回の当社の舗装工事で、長年にわたる事業も無事完了となりました。これも地元の皆様のご協力や発注者様のご指導、協力業者並びに隣接施工業者の皆様のご尽力があつてのことと感謝を申し上げます。これからも安全と品質にこだわった地域のための社会基盤の整備に貢献していきたいと思っております。



■工事概要

- 所 轄 機 関／栃木県安足土木事務所
- 事 業 名／舗装工事 桐生岩舟線
その2(快安道補)
- 路 線 名／桐生岩舟線
- 事 業 箇 所／足利市寺岡町・佐野市
免鳥町



グリーンスタジアムサブグラウンド 人工芝整備工事 施工会社／渡辺建設株式会社

知事表彰 受賞現場に ついて

この度は、栄えある知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。
グリーンスタジアムサブグラウンド人工芝整備工事は、栃木県におけるサッカー競技の振興のため、クレー（土）のグラウンドから、人工芝グラウンドとして整備する改修工事です。

施工においては、最高のグラウンドコンディションを将来のJリーガーに提供できるよう、基層の平坦性や透水性、0.5%の勾配の確保には特に気を配り、また、人工芝設置後のゴムチップと砂の充填には、薄層多層散布工法を用い、散布層毎の測定・修正を繰り返すことにより、斑の無い均一な充填層を構築しました。施工中の一番印象に残っていることは、グラウンド周辺を散歩している方から「雨天時や冬季の日中はぬかるんでいましたが、これで選手も思う存分プレーができますね」と、安心された様子でお声掛け頂いたことです。

地域に貢献していることを実感した瞬間でもございます。

本工事が無事故、無災害で工事を完成できたことに、ご指導頂いた発注者の皆様、ご協力を頂いた関係者の皆様に深く感謝いたしております。

今後も、信頼を得る高品質な施工に努めるよう励んでいきたいと思っております。



■工事概要

- 所 轄 機 関／栃木県宇都宮土木事務所
- 事 業 名／グリーンスタジアムサブグラウンド 人工芝整備工事
- 事 業 箇 所／宇都宮市清原工業団地

優良建設工事技術者受賞にあたって

株式会社高久組

渡邊 勝徳



この度は、このような栄誉ある賞を頂き心より感謝申し上げます。

ひとえにこれまでご指導、ご協力くださいました先生、諸先輩たち並びに会社の皆様、各関係会社の皆様のもと恵まれた環境において充実した仕事を出来たからこそのことだと存じております。

工業高校を卒業後、すぐに現在の会社に入社し23年が過ぎました。右も左もわからなかった当時の自分は刻々と変わる現場状況の中でとにかく日々の仕事をこなすことで精一杯でありました。

時を経て、自分自身が後輩の育成に携わる立場となった現在に於いても、品質や安全、工程、原価などの管理、

第三者への対応、環境対策など其々の現場で生じる多種多様な課題や問題に煩悶しながらの毎日です。けれど虚心坦懐に仕事をこなし、そういった事を反省しながら納得のいく製品を完成させ、無事に竣工を迎える為に奮励することにより、日々艱苦に立ち向かう精神が自ずと養われてきたと思います。

この先、建設業は多くの問題を抱えていると聞きますが微力ながらも未来の建設業の仕事へ貢献できるようより一層精進していく所存でございます。

優良建設工事技術者を受賞して

東武建設株式会社

福田 光夫



この度は、栃木県優良建設工事技術者表彰をいただき、大変うれしく思っております。この表彰にあたり、工事に携わっていただいた皆様の御協力、御指導には大変感謝しております。

私達の建設現場は、自然を相手に同じものを、同じ条件で作ることはなく、日々変化する状況に柔軟に対応しなければなりません。そのため、工事着手前に事前調査をしっかりと行い、施工方法、安全対策を十分に検討し、それを確実に実施し日々の変化にも対応することで、事故や災害を未然に防いできました。施主様、地元の方々に喜んでいただける現場を目指し、工事に携わる全員が「自らやる気を

起こさせる」「少しでも良いものを作ろう」という気持ちにさせる職場環境を作ることを常に心掛け、工事に取り組んで行きたいと思っております。

優良建設工事技術者を受賞して

岩原産業株式会社
菊池 悟史



この度は、栃木県優良建設工事技術者として表彰を賜り誠にありがとうございます。

また、名誉ある賞を受賞するにあたり、ご指導賜りました発注者様、ご協力頂きました工事関係者の皆様にこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

私は建設業に従事し舗装工事をはじめ様々な建設工事に従事してきました。

今回の舗装工事では、施工延長が長く、隣接する施設等が周辺にたくさんあり、工程調整、現場踏査は必要以上に大変でありましたが、安全第一を最優先に考え道路利用者への配慮や周辺住民とのコミュニケーションを確実に実施し施工を行い、周辺からの苦情やトラブルもなく安

全に完成することができました。

今後はより一層高い意識を持って現場管理に従事し、技術共にレベルアップを図りたいと思います。また、現場環境を整備し、若手技術者の柔軟な発想力を積極的に取り入れ共存し、10年後、20年後の明るい建設業の未来へ繋げられるよう精進する所存でありますので、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

優良建設工事技術者受賞にあたり

増山工業株式会社
菅野谷 清一



この度は、栃木県優良建設工事技術者表彰を頂き、誠にありがとうございます。令和に改元されてから受賞できることを、大変嬉しく思います。

私が建設業に就いた年が今から31年前の昭和63年でした。その昭和63年は、バブル景気の時代で、青函トンネル・東京ドーム・瀬戸大橋・ゴルフ場開発など大型開発事業が相次いで竣工し話題となりました。その頃の私は右も左も分からない新入社員でした。入社後すぐ土木工事現場に配属され、会社の先輩に指示されたことを、毎日無我夢中で現場作業・工事資料作成をしては失敗の繰り返しをしていたことを、今でも昨日のように記憶しています。それから31年間

土木・舗装工事に携わり、このような栄誉ある表彰を頂くことが出来た事は、今までご指導していただいた発注者及び諸先輩の方々、工事現場で一緒に汗をかき働いた職人さん達の手厚い協力があったからだと思います。この場を借りてお礼を申し上げます。

これからの建設業界は、情報化施工・働き方改革等々、日々変化していますので、私も初心を忘れず今まで以上に日々努力し、工事現場に携わる関係者と更に協力し、より品質の良い製品を作り微力ではありますが、地域社会に貢献していきたいと思っています。

これからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

とちぎ建設ネクストマスターを受賞して



岩澤建設株式会社
坂田 駿

この度は、「とちぎ建設ネクストマスター」の受賞は、私にとって誠に有り難いことです。又この受賞は、私の努力だけではありません。

入社以来、私を教育・指導してくださった会社の方々、特に同じ部署の先輩方の皆さんからの教えがあったからです。

舗装工事を経験したことがない私の入社当時は、物の名前ひとつ分らず会社の人達には、面倒ばかりかけていたと思います。

日々の舗装工事に携わりながら感じた事は、舗装の仕上がり面を平坦に仕上げることの難しさでした。それはとても奥の深いものがあります。

単に舗装工事と言っても、それぞれの現場に固有の特

徴があります。多くの経験と技術が身に付くことで、それぞれの特徴のある舗装工事現場に対処できるものと思います。同業他社の人から「岩澤建設の舗装は素晴らしい」と言われると、とても良い気持ちになります。

まだまだ未熟な私ですが、優秀な先輩を見習い、これからも技術を高めていきたいと思っております。

今後も難しい舗装工事の施工をすることで、技術、技能を高めていきたいと思っております。

今回の受賞を機に、私にとっては、新たな挑戦が始まりつつあります。この気持ちを、いつまでも持ち続けられるよう努力してまいります。

この度の受賞は、本当にありがとうございました。

とちぎ建設ネクストマスターを受賞して



山本建設株式会社 土木部
和氣 裕介

この度は、とちぎ建設ネクストマスターを受賞させていただきました和氣裕介と申します。

本制度の最初の年に、また、令和という新しい時代のスタートの年にこのような栄誉を賜うことができ、身に余る光栄です。

これもひとえに日頃よりご指導いただいております会社の諸先輩方や同僚の皆さまのご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

私は入社以来、機械施工の部門に配属され、舗装工として業務に従事して参りました。当初は何もわからず、先輩方の指示を受けながら右往左往する状態でしたが、レーキ、ローラー、フィニッシャーと一通り経験し、こここのところどう機械を動かせば効率が良いのかがようやく自分なり

に分かるようになってきたような気がしています。今後は作業効率だけでなく、一緒に動く仲間の安全や原価についても把握し、総合的に物事を判断できるような技術者になりたいと思っております。

この度の受賞を契機として、さらなる技術の研鑽を積み、先輩方がそうであったように、私も後輩の良き手本となれるよう努力して行こうと考えております。

最後になりますが、ご準備いただきました発注者の皆様をはじめ、会社の皆さま、今回の表彰に関係された全ての方々へ心から感謝申し上げます、受賞のお礼とさせていただきます。

この度は誠にありがとうございました。

優良安全管理現場代理人を受賞して

株式会社増渕組
南波 領一



この度は、優良安全管理代理人として表彰をいただき、誠にありがとうございます。工事現場が無事故・無災害で完成した事は、各関係機関のご指導があり、地域住民の方々の安全に関する協力があったからだと思います。

本工事は、歩道拡幅工事で施工場所の周囲には住宅地、マンション、学校施設等があり、多くの児童・生徒が、通学路として使用しているため、第三者の安全確保を重点に考慮し安全管理を行いました。

工事施工にあたり、工事完成まで仮歩道を設置するため、地域住民の方々とコミュニケーションを図り、通行する方々に仮通行帯とわかりやすい視認性の良い保安施設の設置、夜間時には照明灯を設置してアピールしました。

安全管理は「見える安心、見せる安全」への取り組みを行い安全衛生を全てに優先して業務遂行上発生する労働

災害、職業性疾病はもとより公衆災害及び公害の発生の防止に全力を傾注するという基本方針のもとに、「見える安心」「見せる安全」を心がけた安全管理を実践しています。

発注者や地元自治会からの要求事項を考慮した上で危険個所に限定せず現場全体を「見える化」「見せる化」することにより、現場で働く作業員を守り、工事に理解・協力して頂いている地域住民の安全・安心を望む声に応えようと積極的に考え、事故を未然に防ぐことはもとより、現場の「見える化」「見せる化」を推進することで、安心・安全を受注者サイドから発信する安全管理活動を目指しました。

今後一層の安全管理を継続的に行い日々改善し、隠れた危険を排除し労働災害を撲滅していきたいと思っています。

優良安全管理現場代理人を受賞して

磯部建設株式会社
関 志津雄



この度は、優良安全管理現場代理人という賞をいただき誠にありがとうございました。工事を無事故無災害で完成できたのも、協力会社・地域住民の皆様のご協力が得られ、達成できました。

施工時には、隣接工区と安全協議会を結成し、工程・資材搬入の調整・保安機材点検等を協力して行いました。

現場施工は夏場の施工で、施工時間の調整・水分、塩分の摂取・簡易テントを休憩施設とし、熱中症対策に努めました。また、工区内に既設道路が横断しており、第三者に対しての安全対策にも努めました。着工前に、住民の方々に

挨拶等で、工事内容・工期等の概要を説明し、協力をお願いし、夜間は、照明灯で現場を明るくし、視認性の高い保安機材を設置し、昼間は、交通誘導員を配置し、一般車と工事車両の接触事故防止・歩行者の誘導にも努め、地域住民からの苦情等も無く、無事、竣工できました。

今後も、このような賞を頂けるよう、より一層の安全管理に努め、無事故無災害で現場が完成できるように努めてまいります。

優良安全管理現場代理人を受賞して

神谷建設株式会社

福田 守



この度は、優良安全管理現場代理人という賞をいただき誠にありがとうございました。

工事現場が無事故、無災害で終えたことは、ひとえに皆様方の御協力と御指導の賜物と厚く御礼申し上げます。

建設工事は、他の産業に比べ刻々と作業状態が変化する産業であります。今日一日が安全だったとしても翌日も安全だとは限りません。

始業前ミーティングでは施工範囲、施工順序、交通誘導員の配置、重機・ダンプの出入りを書面で全作業員に配布し全従事者に周知徹底させました。また、日々の安全活動や

現場内巡視時の声掛けなどで、工事従事者の安全に対する意識の向上をはかり、私自身は現場内を見回り現場内に問題は無いかチェックをし、問題があれば即時対応を実施しておりました。

私が建設業で働くようになり34年が経ちましたが常に「安全はすべての作業に優先」を第一に従事してまいりました。その考えはこれからも変わらずそして常に高い意識をもち、無事故無災害で工事が完成できるように日々精進していきたいと思えます。

優良安全管理現場代理人を受賞して

小平興業株式会社

荻原 由久



この度は、優良安全管理現場代理人という大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございました。受賞することができたのは、言うまでもなく本工事に携わりました各関係者皆様方のご指導・ご協力によるものと厚く御礼申し上げます。

今回施工した現場は、日光宇都宮道路日光市野口のPA下り線駐車場(延長279.8m 幅員1.0~32.3m 切削オーバーレイ工5,073㎡)ということもあり、外国人観光客の利用者が多いので工事看板や案内板に英語・中国語・韓国語の外国語表記を追加して注意喚起の工夫をしました。駐車場では、作業スペースから歩道と車道を随時カ

ラーコーンで分離し、誘導員を増員して、歩行者が常に安心して施設を利用できる様にしました。

普段何気なく走行している道路も、舗装の施工如何により、大きく車の走行性能に影響を与えます。安全で快適な道路を造ることが舗装施工者として、重要な役割を担っています。当社の経営理念『信頼・団結・実行』を基に、お客様と社会に信頼感・満足感を与える高品質の製品を、引続き提供できるよう努力していきたいと思えます。

今後も舗装の重要性を意識しながら、この受賞を誇りに思い、より一層の技術・品質・安全向上を高めたいと思えます。

優良安全管理現場代理人を受賞して

桜岡建設株式会社
櫻岡 匡一



この度は、優良安全管理現場代理人として表彰をいただき、誠にありがとうございました。

工事を無事故無災害で無事に完成させられたのは、各関係者および現場周辺地域住民の皆様の協力があったからこそだと思っています。

施工時には周辺工事各社とともに安全協議会を設置し、会長を務めさせていただきました。道路改良工事の3社による連携体制で地域住民、通行車両の迷惑にならないよう工事車両の搬入搬出路を協議し、影響を最小限に抑えて工事を行うことができました。現道上であり通学路でも

あったため特に歩行者に対する安全対策に留意し安全管理を行いました。また年末年始においては3社連携により各現場のパトロールを行い、仮設看板・仮設事務所・仮設照明・バリケード等の維持・点検を行うことで休工中の事故の防止に努め、無事に無事故で施工を完了することができました。

これからも無事故無災害で施工できるよう、安全第一に努め、この素晴らしい賞に恥じないよう日々精進していきたいと思っています。

優良安全管理現場代理人を受賞して

株式会社薄井土木
室井 晴貴



この度は、優良安全管理現場代理人としての賞を頂き誠にありがとうございました。

数多く有る現場の内から受賞できた事は、現場に従事した全員が安全・工程・品質管理施工に、真剣に取り組んでくれた結果だと心から感謝しています。

又、関係機関の皆様のご指導、ご協力のおかげで無災害にて完工する事ができましたことも、心から感謝申し上げます。

今回の工事は、JR黒磯駅の駅前開発関連工事であり、各種の工事が一斉に施工することになり、市役所及びJRの協力のもと、安全連絡協議会を結成して施工を進行する事になりました。私は各社の連絡調整役の重責を任せられ、

今までに経験した事の無い大変貴重な体験をさせて頂き、特に安全管理に関しては、駅前商店街、JR利用客、定期路線バス利用客、隣接工事の作業区分の調整を行ってまいりました。また身障者利用客のバリアフリー等の設置、バリケードの設置、案内看板の設置等々の計画から施工までを試行錯誤しながらも、利用客の安全を第一に考え施工する事ができました。

今後も舗装工事現場を現場代理人として施工する事と思いますが、より良い施工は元より、「安全は全てに優先する」を第一に考え、高品質な施工ができる様努力をしてまいります。

この度は、誠にありがとうございました。



一般国道408号 宇都宮高根沢バイパス

一般国道408号宇都宮高根沢バイパスは、茨城県つくばみらい市(谷和原IC)から本県矢板市(矢板IC)に至る地域高規格道路[常総・宇都宮東部連絡道路]の一部を構成する延長6.6kmの幹線道路です。

また本道路は、「ものづくり県」である栃木県の成長を牽引する鬼怒川左岸地域の工業団地群を連絡し、本県の産業活動を支援する重要な幹線道路です。

このため、栃木県では、平成21(2009)年度から本バイパスの整備を進め、平成29(2017)年に暫定供用した延長2.7kmと、このたび令和元(2019)年5月19日に暫定供用開始した延長2.6kmと合わせ、安全で円滑な通行の確保、物流の効率化、地域経済の発展及び地域間の交流・連携の促進に寄与するものと期待されます。

■工事概要

- 所轄機関 / 栃木県宇都宮土木事務所・矢板土木事務所
- 路線名 / 一般国道408号
- 事業箇所 / 宇都宮市野高谷町～高根沢町宝積寺
(今回開通 宇都宮市野高谷町～板戸町)
- 事業延長 / L=6,600m
(今回開通 L=2,600m)
- 計画幅員 / W=14.0m(31.5m)[副道タイプ]
W=14.0m(22.0m)[歩道タイプ]
- 全体事業費 / 約176億円(完成4車線)
- 事業期間 / 平成21(2009)年度～
令和6(2024)年度(予定)
- 舗装施工会社 / 山本建設(株)、宇都宮土建工業(株)、
米弥工業(株)、栃舗建設工業(株)、
(株)野澤實業、野中建設(株)
(今回開通 会員のみ)





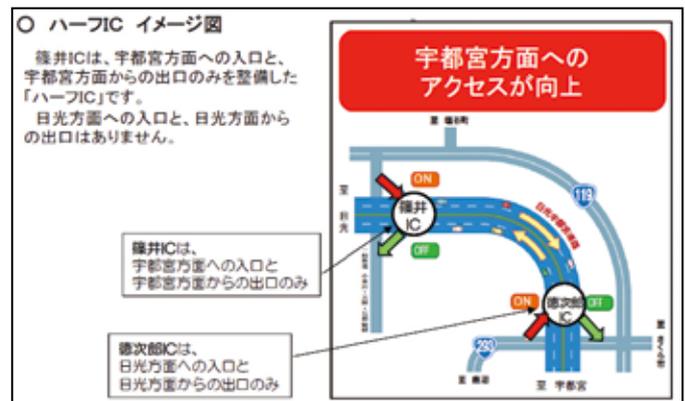
日光宇都宮道路 篠井インターチェンジ

「日光宇都宮道路」は、国道119号及び国道120号のバイパスとして、栃木県の中心都市である宇都宮市と国際観光都市である日光市を結ぶ、延長30.7kmの自動車専用の有料道路です。

篠井地区から宇都宮市街地へのアクセス向上を図るため、栃木県道路公社が平成28(2016)年より整備を進めてきました篠井ICが、令和元(2019)年6月29日に開通しました。これにより、国道119号の徳次郎地区における渋滞緩和や周辺地域の活性化が期待されます。

■ 工事概要

- 所 轄 機 関 / 栃木県道路公社
- 路 線 名 / 日光宇都宮道路
- 事 業 箇 所 / 宇都宮市石那田
- 形 式 / ダイヤモンド型IC(分離型)
- 計 画 幅 員 / W=5.5m(うち車道幅員3.25m)
- 事 業 費 / 約11億円
- 事 業 期 間 / 平成28(2016)年度～令和元(2019年度)
- 舗装施工会社 / 山本建設(株)、米弥工業(株)





主要地方道 宇都宮向田線(大塚工区)

主要地方道宇都宮向田線は、宇都宮市と那須烏山市とを連絡する幹線道路であるとともに、鬼怒川左岸地域に位置する大規模な工業団地群(清原、芳賀、芳賀・高根沢など)へのアクセス道路にもなっており、産業・経済活動を支える上で重要な役割を担っている道路です。

しかしながら、本路線の芳賀町大塚付近では、朝夕の通勤時間帯を中心に深刻な交通渋滞が発生しており、通勤通学などの日常生活や地域経済活動の大きな妨げとなっていることから、安全で円滑な道路の早期完成が強く望まれていました。

このため、栃木県では平成18年度から4車線のバイパス整備に着手し、この度、全体延長約1.6kmの全区間が開通しました。

この大塚工区の開通により、本地域の交通渋滞が大きく緩和されるとともに、地域高規格道路(常総・宇都宮東部連絡道路)と一体となった道路ネットワークが形成され、物流の効率化や、地域の発展、地域間の交流・連携の促進に寄与するものと期待されます。

■工事概要

- 所 轄 機 関 / 栃木県真岡土木事務所
- 路 線 名 / 主要地方道 宇都宮向田線
- 工 事 箇 所 / 芳賀町大塚
- 事 業 延 長 / L=1,580m
- 計 画 幅 員 / W=23.5m(車線数4)
/ 約176億円(完成4車線)
- 総 事 業 費 / 約32.4億円
- 事 業 期 間 / 平成18年度～平成30年度
- 舗 装 施 工 会 社 / (有)松本工務店



1. (一社) 栃木県舗装協会 通常総会

令和元年5月15日宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、令和元年度通常総会を開催いたしました。来賓として、栃木県から福田富一知事、佐藤大三道路保全課長、木村浩幸農村振興課主幹、及び渡邊勇雄栃木県建設産業団体連合会会長、並びに顧問の木村好文県議会議員と螺良昭人県議会議員をお迎えしました。

開会后、岩澤理夫会長から「一般社団法人として、専門工事である舗装の優れた技術の習得、経営力の向上、事故防止と安全の確保、さらに環境対策の充実を図るとともに、災害時の緊急支援をはじめとした、社会貢献活動へ積極的に取り組み、協会の存在を一層高める努力をしていく」との挨拶がありました。その後、15年と25年の永年勤続優良従業員22名の表彰式に続き、福田富一知事と渡邊勇雄栃木県建設産業団体連合会会長、並びに顧問の木村好文県議会議員、螺良昭人県議会議員からそれぞれご祝辞を頂戴いたしました。



令和元年度通常総会(会長挨拶)

議事に入るにあたり事務局から出席会員は、会員数47名のところ46名の出席で総会が成立することが報告され、平成30年度の事業報告・収支決算及び令和元年度の事業計画・収支予算案について原案通り承認されました。

更に、役員の補充選任がなされ、下記のとおり就任いたしました。

令和元年度 一般社団法人栃木県舗装協会役員 (敬称略)

役職	氏名	会社名	備考
会長	岩澤理夫	岩澤建設株式会社	
副会長	岩見高士	株式会社 浜屋組	
副会長	和知孝道	渡辺建設株式会社	
理事	亀和田 薫	米弥工業株式会社	
理事	荒井 学	宇都宮土建工業株式会社	総務委員長
理事	磯部尚士	磯部建設株式会社	広報委員長 総務委員
理事	岩見 武	株式会社 大岩建設	安全管理委員長 総務委員
理事	竹内智祐	栃舗建設工業株式会社	総務副委員長
理事	天野雅彦	天野建設株式会社	総務委員
理事	山田通寛	日瀝道路株式会社 栃木支店	技術委員長
専務理事	板橋一衛	一般社団法人 栃木県舗装協会	
監事	丸山隆重	丸山重機株式会社	総務委員
監事	菊池祥一	山本建設株式会社	総務委員
監事	吉澤定男	吉沢建設株式会社	安全管理委員

顧問	木村好文	栃木県議会議員	
顧問	螺良昭人	栃木県議会議員	
顧問	神谷幸伸	前 栃木県議会議員	
顧問	菊池 茂	前 栃木県舗装協会会長	

(令和元年5月15日現在)

2. 舗装施工管理技術講習会

令和元年5月21日宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」で開催されました。受講案内は当協会員への外、当協会のホームページに掲載し、また、建設関係の一般技術者をはじめ県・市町の技術職員等にはリーフレットによりご案内し、会員42名、県1名、一般申込み1名の計44名の参加により技術講習会が開催されました。講習会に先立ち、栃木県舗装協会の山田技術委員長より「この講習会は、舗装施工管理技術者の資格取得と舗装技術に関する知識の習得を目的として毎年実施されている。舗装協会としては、社会資本整備を通して社会に貢献するために優れた技術者の育成や指導を行っていかねばならないと考えている技術者試験は、合格

率が一級で16%程度と難しくなっておりますが、総合評価の中で、資格の有無やCPDSなど評価項目に加味されておりますので、長時間の講習会となるが最後までしっかりと受講してほしい」と挨拶しました。

なお、平成30年度の舗装施工管理技術者の登録者数は、一級・二級合わせて全国で50,387名となっております。栃木県では、一級が532名、二級が232名の合計764名が登録されております。

また、総合評価の中で継続学習制度が加味されましたが、この講習会も継続学習としてCPDS等に登録することができるようになっております。

■今年の講習会の講義は、テキストとサブテキストを使用しながら次の区分により行われました。

1. 土木一般	講師 日瀝道路(株) 栃木支店	課長 西岡 誠氏
2. 施工計画・管理	講師 日瀝道路(株) 栃木支店	課長 西岡 誠氏
3. 舗装	講師 日瀝道路(株) 本社	室長 細川 太郎氏
4. 法規・応用及び傾向と対策	講師 日瀝道路(株) 本社	室長 細川 太郎氏



技術委員長挨拶



舗装施工管理技術講習会

3. 安全衛生大会・安全衛生セミナー

令和元年6月14日宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において、会員及び関係団体から約130名の参加により安全衛生大会と安全衛生セミナーを開催いたしました。

【安全衛生大会】

安全衛生大会は、建設業労働災害防止協会栃木県支部と栃木県アスファルト合材協会の共催により行われました。舗装協会の岩澤会長の挨拶に続いて、安全管理委員会の細谷副委員長から安全パトロールの結果講評が行われ、優良安全管理現場代理人として下記の6名の方々に会長よりそれぞれ表彰状と記念品が贈呈されました。

引き続き、来賓の栃木労働局浅野局長の代理として労働基準部健康安全課の井口恵貴課長並びに、渡邊勇雄建設業労働災害防止協会栃木県支部長からそれぞれご祝辞をいただきました。

その後、安全宣言に移り、神谷建設株式会社の阿久津毅氏が「安全宣言」を読み上げ閉会いたしました。

【安全衛生セミナー】

安全衛生セミナーは、安全衛生大会終了後、岩見武安全管理委員長の進行により、建設業労働災害防止協会栃木県支部安全衛生教育等講師の臼井一夫氏から、最近の建設現場における高齢従業員の死亡事故が増加している現状を踏まえ、「建設産業における労働災害の防止 ～建設現場管理者の安全管理責任～」と題してご講演をいただきました。



安全衛生セミナー(講師 臼井一夫氏)



安全衛生大会(会長挨拶)



会場風景

令和元年度 優良安全管理現場代理人表彰名簿

(敬称略)

No	氏名	会社名	工事名(箇所)
1	東部A 南波 領一	(株)増淵組	都市計画道路舗装工事(分割2号)/宇都宮市鶴田町鶴田第2地区
2	西部A 関 志津雄	磯部建設(株)	日光市水無バイパス/道路改良工事119号 その1/日光市森友地内
3	西部B 福田 守	神谷建設(株)	一般県道上久我栃木線/舗装修繕工事上久我栃木線 その10(道保全単)/鹿沼市西沢
4	南部 荻原 由久	小平興業(株)	日光宇都宮道路/舗装修繕工事 その1/日光市野口
5	北部A 櫻岡 匡一	桜岡建設(株)	市道美原205号線/市道美原205号線道路改良工事 その2/大田原市美原3丁目外
6	北部B 室井 晴貴	(株)薄井土木	黒磯駅西口広場整備工事/那須塩原市本町地内



優良安全管理現場代理人受賞者

4. 暴力対策連絡大会

令和元年6月14日に安全衛生大会・安全衛生セミナーに引き続き「ホテルニューイタヤ」で開催されました。

暴力対策連絡大会は平成24年4月に「栃木県暴力団排除条例」が施行されたことから始まり、岩澤会長の挨拶の後、公益財団法人栃木県暴力追放県民センターの専務理事橋本源一郎氏より「反社会的勢力の排除と対策」と題して、暴力団等反社会的勢力による不当要求行為撃退、不当要求防止対策に関するご講演をいただきました。

また、栃木県弁護士会民事介入暴力対策委員の阿久津正巳氏より「弁護士から見た民事介入暴力について」のご講演をいただきました。

その後、栃木共同アスコン株式会社の山下裕司氏から「暴力団等の排除に関する決議」の決意表明がなされ、盛会のうちに大会を終了することができました。



講演者(橋本 源一郎氏)



講演者(阿久津 正巳氏)



決意表明(山下 裕司氏)

5. 技術研修会

・5-1

平成31年4月25日宇都宮市の「栃木県舗装会館」に於いて、第1回技術研修会が当協会委員43名、県土整備部技術職員12名の計55名が出席し開催されました。

研修会に先立ち、山田技術委員長から「本日の研修会は、昨今のメンテナンス時代に於ける舗装の劣化要因や修繕方法など適材適所の工法や設計に関する講義」であるので、しっかりと学んで

ほしいとの挨拶があった。今回の研修会は、ニチレキ関東支店の沖田次長から「舗装補修の計画と設計指針について」と、また同じくニチレキ関東支店の三上課長から「舗装の損傷種類と補修方法について」と題した講義を頂きました。舗装の長寿命化修繕計画の遂行に向けた講義として、非常に有意義な研修会となりました。

1.「舗装補修の計画と設計指針」	講師 ニチレキ(株)関東支店	次 長	沖田 和浩氏
2.「舗装の損傷種類と補修方法」	講師 ニチレキ(株)関東支店	課 長	三上 隆司氏



技術委員長挨拶



第1回技術研修会風景

・5-2

令和元年7月17日宇都宮市の「栃木県舗装会館」に於いて、第2回技術研修会が当協会員35名、県土整備部技術職員5名が出席し開催しました。

研修会に先立ち、山田道寛技術委員長から「本日の研修会は、特別講演と舗装研修の二本立てとなっている。舗装工事は良好な道路環境を維持していくためには重要な事業であり、今日の研修会で習得した新たな舗装技術などを各自の現場で生かしてほしい」と挨拶があった。今年度の研修会は、特別講演として公共工事における現場管理について、栃木県県土整備部技術管理課検査班から二人の講師をお招きして「工事成績評定と最近の検査につい

て」と「現場で使えるチェックシートの活用方法」をテーマに、分かりやすく講義を頂きました。

さらに「修繕における舗装構造設計(路床CBR&FWD)」と題してニチレキ(株)関東支店次長から、また「機能性舗装(色々な舗装の紹介)」と題して同じくニチレキ(株)関東支店課長からそれぞれ講義をして頂きました。

また、本年も、栃木県県土整備部の技術職員の参加をいただき、官民一体となり舗装に関する技術力の向上に繋がったと思っております。

1.「工事成績評定と最近の検査について」	講師 栃木県県土整備部技術管理課	検査監	杉田 浩行氏
2.「現場で使えるチェックシートの活用方法」	講師 栃木県県土整備部技術管理課	副検査監	齋藤 充央氏
3.「修繕における舗装構造設計(路床CBR&FWD)」	講師 ニチレキ(株)関東支店	次長	沖田 和浩氏
4.「機能性舗装(色々な舗装の紹介)」	講師 ニチレキ(株)関東支店	課長	三上 隆司氏



技術委員長挨拶



第2回技術研修会風景

6. とちぎ建設技術センターによる研修(舗装技術)

令和元年度の技術センター舗装研修として、宇都宮市竹林町の「技術センター研修室」にて、当協会員を始め県土整備部及び市町の技術職員の方々が出席し、舗装に関わる技術研修会が開催されました。

尚、研修の内容は、1.舗装技術(～製造から設計～) 2.舗装技術(～維持管理工法～)であり、各講師から舗装の専門的講義を頂きました。

1.舗装技術(～製造から設計～)令和元年9月18日

- ・舗装材料、舗装設計及び補修の実務
- ・路床・路盤試験の説明
- ・アスファルト配合設計
講師:ニチレキ(株)関東支店 沖田 和浩 氏
- ・アスファルトプラントの説明
講師:ニチレキ(株)関東支店 三上 隆司 氏
- ・アスファルトプラント実習
講師:瑞穂瀝青工業(株)、磯部建設(株)

2.舗装技術(～維持管理工法～)令和元年9月20日

- ・県内の道路瑕疵の現状
講師:栃木県県土整備部道路保全課 道路管理担当 副主幹 福田 智徳 氏
- ・舗装の維持管理について
- ・切削オーバーレイ、路上再生路盤工法及び、クラックシール・薄層表面処理工法について
講師:ニチレキ(株)関東支店 三上 隆司 氏

7. 道路環境美化活動(愛ロード事業)

道路は通学・通勤・経済活動等、子供から高齢者までの多くの県民が社会活動を行う上で、最も身近な公共施設であります。

近年の道路環境は一部の心無い人達により、カン・ペットボトル等のごみの不法投棄による悪化が目立ち、不快だけでなく、交通事故の原因にもなるなど悩ましい問題となっています。

そこで当協会は、ボランティア団体として、ポイ捨てされた空きカン等のゴミ拾いや雑草の除去等の清掃を通して、道路環境の向上、環境美化活動を行うことにより、道路利用者の道路を愛する心を育てています。具体的には、「道路」を、清潔で安全・快適に利用できるようにするための環境美化ボランティア活動事業として「愛ロードとちぎ」を行うことにより、道路に対する道路利用者のマナー・意識向上を図ることが期待されます。

今年で9年目を迎えるこの事業は、栃木県舗装協会と宇都宮市、道路管理者である県がパートナーとして連携協力し、主要地方道路宇都宮市向田線の宇都宮市塙田1丁目(塙田トンネル)から田川東橋の約1.5kmにおいて、安全で快適な道路環境の維持向上を図ると共に、安全で快適な県土づくりと道路利用者の意識向上を図る目的として行われ、1回につき約30名程度の参加者により、年6回の清掃作業活動を実施しています。



令和元年度第1回愛ロード(塙田トンネル)



令和元年度第2回愛ロード(宇都宮市向田線)

平成30年度の実施状況 開催日及び参加人員

●第1回	平成30年	4月11日	30名
●第2回	平成30年	6月13日	30名
●第3回	平成30年	8月8日	…台風のため中止
●第4回	平成30年	10月10日	28名
●第5回	平成30年	12月12日	31名
●第6回	平成31年	2月13日	26名

令和元年度の実施状況及び予定 開催日及び参加人員

●第1回	平成31年	4月10日	30名
●第2回	令和元年	6月12日	29名
●第3回	令和元年	8月7日	30名
●第4回	令和元年	10月9日	予定
●第5回	令和元年	12月12日	予定
●第6回	令和2年	2月12日	予定

8. 道路の現況調査

令和元年5月下旬から6月下旬にかけて、県内7地区94路線の道路の現況調査を実施しました。本調査は、昨年度に続き実施したもので、各土木事務所の担当者と協議する中で、各所の重要と思われる路線(区間)を選定し、各地区会員による目視による調査を行ったところです。

調査状況としては、延長にして約160kmの箇所で、「亀甲状のクラック」や「わだち掘れ」などの箇所を把握しました。なお、本道路の調査は今後「継続な調査」として、調査地区や調査路線の拡大等を図る中で、「道路利用者の安全・安心な道路の確保」、更には「道路舗装の長寿命化」に向けて、舗装の専門業者、「プロの目」で把握した内容を、道路管理者に対して報告するとともに、より良い補修工法など助言していきたいと考えます。



調査路線・不良箇所

・宇都宮地区	宇都宮今市線外	14路線	延長＝ 17,204m	面積＝ 84,969.25㎡
・鹿沼地区	国道293号外	15路線	延長＝ 28,010m	面積＝ 212,609㎡
・日光地区	栗山今市線外	3路線	延長＝ 76,225m	面積＝ 44,498.5㎡
・矢板地区	今市氏家線外	23路線	延長＝ 23,810m	面積＝ 165,680㎡
・大田原地区	矢板那須線外	7路線	延長＝ 13,446m	面積＝ 84,323㎡
・烏山地区	国道293号外	2路線	延長＝ 1,893m	面積＝ 14,438㎡
・安足地区	名草小俣線外	23路線	延長＝ 19,821m	面積＝ 139,891.7㎡
・合計	7地区	94路線	総延長 180,409m	

9. 永年勤続優良従業員表彰

令和元年5月15日宇都宮市の「ホテルニューイタヤ」において行われました、令和元年度舗装協会通常総会におきまして、永年勤続優良従業員として22名の方々が表彰されました。

表彰されました皆様方には、大変おめでとうございます。これからもお元気で職務に精励されることをご祈念申し上げます。

令和元年度永年勤続優良従業員表彰(規程第5条第1項該当者)15年(敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤務期間	勤続年数	摘要
宇都宮土建工業(株)	主任	稲葉 美和	平.16.3~平.31.3	15年	
宇都宮土建工業(株)	係長	江連 勇人	平.16.3~平.31.3	15年	
(株)谷黒組	土木部	七井 貴之	平. 5.4~平.31.3	25年	
(株)谷黒組	土木部	星 睦己	平.10.10~平.31.3	20年	
那須土木(株)	土木部次長	畠田 勇	昭.60.4~平.31.3	34年	
(株)浜屋組	第2土木部工事係長	葛西 仁	平.10.4~平.31.3	21年	
(株)浜屋組	第2土木部係長補佐	植竹 正臣	平.10.4~平.31.3	21年	
(株)増淵組	工事課長	加藤 正志	平. 8.4~平.31.3	23年	
山本建設(株)	土木部職長	佐藤 幸雄	平.10.5~平.31.3	20年	
山本建設(株)	土木部職長	加藤 幸男	平.10.5~平.31.3	20年	

令和元年度永年勤続優良従業員表彰(規程第5条第2項該当者)25年(敬称略)

会社名	役職名	氏名	勤務期間	勤続年数	摘要
磯部建設(株)	アスファルト事業部合材工場課長補佐	中田 恭央	平. 5.4~平.31.3	25年	
岩澤建設(株)	栃木支店長	遠藤 充正	昭.57.4~平.31.3	37年	
岩澤建設(株)	工事部課長	舟橋 和久	昭.57.4~平.31.3	37年	
(株)大岩建設	工事部長補佐	小池 秀幸	平. 6.4~平.31.3	25年	
神谷建設(株)		稲見 恵子	平. 2.4~平.31.3	28年	
東武建設(株)	課長補佐	沼尾 浩行	昭.56.4~平.31.3	38年	
栃舗建設工業(株)	工事次長	高野 恭一	平.5.11~平.31.3	25年	
(株)増淵組	課長代理	根岸 政実	昭.61.4~平.31.3	33年	
丸山重機(株)	土木部課長	佐藤 忍	平. 2.4~平.31.3	28年	
丸山重機(株)	舗装部部長	丸山 清孝	平. 1.7~平.31.3	29年	
渡辺建設(株)	土木部課長(課長Ⅲ)	青山 茂夫	平. 2.4~平.31.3	29年	
渡辺建設(株)	土木部課長(課長Ⅰ)	石戸 一博	平. 4.4~平.31.3	27年	

10. 平成30年度 第1回 安全パトロール

平成30年9月3日から9月20日の間、安全管理委員会による平成30年度、第1回の安全パトロールが実施されました。パトロールは、協会員施工中の工事現場12箇所について安全管理委員が6班に分かれて各地域に出向き、各現場及び現場周辺の安全点検を行いました。

調査に当たっては、現場の安全管理上から定められた点検事項30項目、そして、現場の難易度6項目について、各委員が担当地域の工事現場で安全管理が適切に実施されているかを確認し、各点検事項の評価を行い必要に応じ、現場で注意、指導助言等を行いました。

今回の調査については、着工直後から竣工間近の現場が調査箇所となり、工事の進捗である出来高が平均で約45%で、ま

た評価点数で最高が89点、最低で67点となり、平均では79点という状況でした。

パトロール現場は、供用している道路や狭隘区間の現場であり、一般車両への規制や誘導、更には自転車や歩行者の交通安全の確保に、また占用物移設が支障となり、工事の進捗が図れないなど厳しい現場がありました。

今後も現場や現場周辺の安全を確保するため、注意事項や指導事項を早急に改善し、周辺環境に十分配慮した安全管理を行い、工事現場周辺も含めて事故防止に努めていただく必要があると思われます。

なお、パトロール結果は下記のとおりであり、今後の安全管理を図るために記載致しますので参考にして下さい。

●適正評価事項

1. 仮設歩行者通路にゴムマットが使用され良く整備されている。
2. タイマー式のバルーン照明など歩行者に配慮された仮設通路が、良く整備されている。
3. 単管バリケードのノーズ部に第三者への配慮として、被覆防護材が設置されている。
4. 児童の下校時刻にあわせ現場の一時作業中止をするなど、歩行者への配慮がなされている。

●注意・指導事項

1. 工事の件名板が仮置品で見づらい。
2. 工事区間内を横断する架空線に目印旗が設置されていません。
3. 待機中の重機にキーが刺さったままであった。第三者から手の届く位置の物もあったので、キーの管理を徹底すること。

●苦慮している事項

1. 毎日(土日祝も)の日課として朝(6時)晩のパトロールや飛散物の処理に努めている。
2. 近隣住民や子供等の「いたずら」に対する保安材の日々の管理は大変である。
3. 降雨など天候の影響で路盤を補修する事になり、それに伴う作業の遅れで、全体のスケジュールに「ずれ」が生じている。

●パトロール実施状況(9月3日～9月20日)

班名	実施日	調査箇所数
東 部 A	9月19日(水)	2箇所
東 部 B	—	—
西 部 A	9月20日(木)	1箇所
西 部 B	9月19日(水)	2箇所
南 部	9月20日(木)	1箇所
北 部 A	9月 3日(月)	2箇所
北 部 B	9月11日(火)	4箇所
計		12箇所

※評価点：仮設関連4項目 交通対策9項目 建設機械7項目 作業員3項目
周辺対策7項目 現場の難易度6項目 評価項目36項目



東部A



西部A



西部B



南部



北部A



北部B

11. 平成30年度 第2回 安全パトロール

平成30年11月28日から12月10日の間、安全管理委員会による平成30年度、第2回の安全パトロールが実施されました。パトロールは、協会員施工中の現場11箇所について安全管理委員が7班に分かれて各地域に出向き、各現場及び現場周辺の安全点検を行いました。

調査に当たっては、現場の安全管理上から定められた点検事項30項目、そして、現場の難易度6項目について、各委員が担当地域の工事現場で安全管理が適切に実施されているかを確認し、各点検事項の評価を行い必要に応じ、現場で注意、指導助言等を行いました。

今回の調査については、着工直後から竣工間近の現場が調査箇所となり、工事の進捗である出来高は平均で約44%で、また評価点数は最高90点、最低で69点であり、平均では82点という状況でした。

● 適正評価事項

1. 架空線注意ののぼりと架空線に三角旗が設置され安全への見える化に努めている。
2. 夜間の信号規制に対応し、バルーンライトや矢印板(反射式)を多く設置して、視認性の向上に努めている。
3. 通行車両のタイヤに付着しない乳剤を使用している。
4. 現場事務所が遠方になるため、作業現場にも作業員休憩所とトイレが設置されている。

● 注意・指導事項

1. 歩道(現道)と作業エリア間にバリケードが設置されているが、併せて墜落、転落等の注意喚起の看板も設置してください。
2. 注意喚起ののぼりがあるのに架空線注意ののぼりが無い。何ののぼりかわかるように色など工夫をした架空線注意ののぼりがあると良い。
3. 歩行者用の道路が明確にされておらず、歩行者を考慮した対応が必要である。

● 苦慮している事項

1. 高架線が現場の中を通過しているため、重機の作業などに注意している。
2. 道幅が狭いにもかかわらず大型車両が頻繁に通行するので、接触等に気をつけている。
3. 工事期間中の通行規制(通行止め)に、通過車両への配慮もさることながら沿道住人への事前協議、周知に努めている。

パトロール現場は、農道工事など交通量が少ない現場もありましたが、ほとんどの現場が狭隘な道路であり、一般車両への規制や誘導、更には自転車や歩行者の交通安全の確保に苦慮していました。

また、占用物が支障となって工程の進捗が図れないなどの現場がありました。今後も、現場や現場周辺の安全を確保するため、注意事項や指導事項を早急に改善し、周辺環境に十分配慮した安全管理を行い、工事現場周辺含めて事故防止に努めていただく必要があると思われます。

なお、パトロール結果については、下記のとおりでありましたので、今後の安全管理を図るために記載致しますので参考して下さい。

● パトロール実施状況(11月29日～12月10日)

班名	実施日	調査箇所数
東部 A	11月29日(木)	1箇所
東部 B	12月10日(月)	1箇所
西部 A	11月28日(水)	3箇所
西部 B	11月29日(木)	4箇所
南部	12月5日(水)	2箇所
北部 A	11月30日(金)	3箇所
北部 B	12月4日(火)	2箇所
計		16箇所

※評価点:仮設関連4項目 交通対策9項目 建設機械7項目 作業員3項目 周辺対策7項目 現場の難易度6項目 評価項目36項目



東部A



東部B



西部A



西部B



南部



北部A



北部B

12. 舗装三県合同協議会

平成30年10月18日 群馬県の「伊香保温泉 ホテル小暮」において、平成30年度舗装三県合同協議会が開催されました。

なお、大会前にはハツ場ダムの見学会がありました。

三県合同協議会は、群馬、茨城、栃木の三県で構成され、毎年持ち回りで開催し、「アスファルト合材の発注者別総出荷量の推移と道路関係予算の推移」の報告が行われ、その後、「工事量の安定的な確保と発注の平準化」について意見の交換が行われました。また、各県の皆様の活発なご討議の中で、次回の協議会を群馬県で開催することを決め会議を閉会しました。

更に、閉会後には会場を移動し懇親会を開催。日頃の労をねぎらうとともに、各県・各社の悩みや課題についての情報交換を親密に行いました。



舗装三県合同協議会風景



工事中のハツ場ダム

13. 各種委員会正副委員長名簿

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務委員会	荒井 学 (宇都宮土建工業株)	竹内 智祐 (栃舗建設工業株)	12名
技術委員会	天野 雅彦 (天野建設株)	大塚 照夫 (株増渕組)	10名
安全管理委員会	岩見 武 (株大岩建設)	細谷 房夫 (渡辺建設株)	48名
広報委員会	磯部 尚士 (磯部建設株)	遠藤 充正 (岩澤建設株)	11名

(令和元年10月1日現在)

一般社団法人 栃木県舗装協会 会員名簿

会社名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
天野建設(株)	代表取締役	天野 雅彦	0287-23-2520	0287-22-3585	〒324-0011 大田原市北金丸1546-7
(株)生駒組	代表取締役	生駒 憲一	0287-36-0648	0287-37-1466	〒329-2735 那須塩原市太夫塚5-221
石川建設(株)	代表取締役	石川 裕之	0287-62-0054	0287-63-8357	〒325-0045 那須塩原市高砂町5-12
磯部建設(株)	代表取締役	磯部 尚士	0288-22-5111	0288-22-6222	〒321-1261 日光市今市1525
伊藤技建(株)	代表取締役	伊藤 守行	0289-65-4121	0289-65-4145	〒322-0045 鹿沼市上殿町687-1
(株)猪股建設	代表取締役	猪股 弘樹	0287-59-0114	0287-37-5515	〒324-0206 大田原市中野内2126
(株)入江組	代表取締役	入江 克拓	028-656-1132	028-656-1154	〒321-0112 宇都宮市屋板町578-250
岩澤建設(株)	代表取締役社長	岩澤 理夫	0284-70-3111	0284-70-3000	〒326-0324 足利市久保田町564-1
岩原産業(株)	代表取締役	岩原 正樹	028-662-8441	028-663-3091	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地6-12
(株)薄井土木	代表取締役	薄井 幹夫	0287-65-2234	0287-65-2289	〒329-3152 那須塩原市島方379-9
宇都宮土建工業(株)	代表取締役社長	荒井 学	028-656-1222	028-656-7569	〒321-0112 宇都宮市屋板町568-1
(株)大岩建設	代表取締役	岩見 武	0287-23-1610	0287-23-3250	〒324-0042 大田原市末広1-4-40
上岡土建(株)	代表取締役	上岡 利之	0289-76-2788	0289-76-1472	〒322-0026 鹿沼市茂呂252-1
神谷建設(株)	代表取締役	神谷 静子	0289-65-2121	0289-65-2124	〒322-0034 鹿沼市府中町383
(株)菊地組	代表取締役	菊池三紀男	028-664-3348	028-664-3250	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地45-2
小平興業(株)	代表取締役	石黒 靖規	028-658-1600	028-659-0284	〒321-0151 宇都宮市西川田町1164
桜岡建設(株)	代表取締役	櫻岡 増実	0287-23-3456	0287-23-7646	〒324-0016 大田原市北大和久24
(株)佐藤組	代表取締役	佐藤 憲一	0287-98-3782	0287-98-3763	〒324-0403 大田原市湯津上1140
佐藤建設工業(株)	代表取締役社長	佐藤 俊之	028-682-6524	028-682-0128	〒329-1334 さくら市押上1065
(株)シンエヌ	代表取締役	吉成 浩文	028-634-7280	028-634-7281	〒320-0842 宇都宮市京町9-50
大幹建設(株)	代表取締役社長	入江 誠	028-656-2615	028-656-2427	〒321-0112 宇都宮市屋板町578-105
(株)高久組	代表取締役	高久 秀将	0287-72-0148	0287-72-5507	〒329-3222 那須町大字寺子丙 1
(株)谷黒組	代表取締役社長	谷黒 公重	0287-32-2220	0287-32-2827	〒329-2921 那須塩原市塩原1100

会社名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
(株)千葉建設	代表取締役	千葉 恭裕	028-658-8746	028-658-3199	〒321-0155 宇都宮市西川田南1-47-20
(株)津野田土木	代表取締役	津野田 哲	0285-53-6451	0285-53-6246	〒329-0527 河内郡上三川町上神主462-1
東武建設(株)	取締役社長	関 正一	0288-21-8321	0288-21-7385	〒321-2411 日光市大桑町138
(株)東部興業	代表取締役	高田 和幸	0285-56-2509	0285-56-2855	〒329-0603 上三川町大字東蓼沼156
東武道路工業(株)	代表取締役	伊藤 章夫	0288-27-1155	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃舗建設工業(株)	代表取締役	竹内 智祐	028-648-2594	028-648-8670	〒320-0851 宇都宮市鶴田町3620-7
中村土建(株)	代表取締役社長	渡邊 幸雄	028-622-6581	028-622-6292	〒320-0014 宇都宮市大曾4-10-19
(株)中山建設	代表取締役	阿久津 太	0287-88-7145	0287-88-7147	〒321-0526 那須烏山市田野倉819-1
那須土木(株)	代表取締役	玉木 茂	0287-23-5678	0287-23-0355	〒324-0056 大田原市中央1-13-10
日光舗装(株)	代表取締役	神子谷志津雄	0289-85-2047	0289-85-2864	〒322-0305 鹿沼市口栗野108-1
(株)野澤實業	代表取締役	野澤 充広	028-656-2851	028-656-6422	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-7-9
野中建設(株)	代表取締役	野中伸之助	028-624-9890	028-624-9891	〒320-0004 宇都宮市長岡町384-4
(株)浜屋組	代表取締役社長	岩見 高士	0287-43-1181	0287-43-1184	〒329-2164 矢板市本町12-6
増山工業(株)	代表取締役	増山 邦夫	0285-82-3610	0285-84-0909	〒321-4307 真岡市西郷2235
(株)増淵組	代表取締役社長	増淵 勝明	028-633-7373	028-637-4401	〒321-0933 宇都宮市築瀬町2500-15
(有)松本工務店	代表取締役	松本 友一	0285-73-1600	0285-74-5454	〒321-4523 真岡市さくら4-1-20
(株)丸あ組	代表取締役	荒井 恭一	028-633-6664	028-635-8664	〒321-0933 宇都宮市築瀬町1947-8
マルホ建設(株)	代表取締役	星 豪紀	0287-57-0008	0287-23-6807	〒324-0215 大田原市南方530
丸山重機(株)	代表取締役	丸山 隆重	0287-65-2311	0287-65-2314	〒329-3157 那須塩原市大原間西1-7-5
山本建設(株)	代表取締役社長	菊池 祥一	028-635-6151	028-635-6255	〒320-0864 宇都宮市住吉町19-14
吉沢建設(株)	代表取締役	吉澤 定男	0289-62-4916	0289-62-6070	〒322-0006 鹿沼市富岡1342
米弥工業(株)	代表取締役社長	亀和田 薫	028-624-6001	028-624-6003	〒320-0072 宇都宮市若草3-12-5
渡辺建設(株)	取締役会長	和知 孝道	028-661-5551	028-662-9562	〒321-0961 宇都宮市今泉新町180

(令和元年10月1日現在)

一般社団法人 栃木県舗装協会 会員



天野 雅彦
天野建設(株)



生駒 憲一
(株)生駒組



石川 裕之
石川建設(株)



磯部 尚士
磯部建設(株)



伊藤 守行
伊藤技建(株)



猪股 弘樹
猪股建設(株)



入江 克拓
入江組(株)



岩澤 理夫
岩澤建設(株)



岩原 正樹
岩原産業(株)



薄井 幹夫
薄井土木(株)



荒井 学
宇都宮土建工業(株)



岩見 武
大岩建設(株)



上岡 利之
上岡土建(株)



神谷 静子
神谷建設(株)



菊池 三紀男
菊池組(株)



石黒 靖規
小平興業(株)



櫻岡 増実
桜岡建設(株)



佐藤 憲一
佐藤組(株)



佐藤 俊之
佐藤建設工業(株)



吉成 浩文
シンエヌ(株)



入江 誠
大幹建設(株)



高久 秀將
高久組(株)



谷黒 公重
谷黒組(株)



千葉 恭裕
千葉建設(株)



津野田 哲
津野田土木(株)



関 正一
東武建設(株)



高田 和幸
株東部興業



伊藤 章夫
東武道路工業(株)



竹内 智祐
栃舗建設工業(株)



渡邊 幸雄
中村土建(株)



阿久津 太
株中山建設



玉木 茂
那須土木(株)



神子谷 志津雄
日光舗装(株)



野澤 充広
株野澤實業



野中 伸之助
野中建設(株)



岩見 高士
株浜屋組



増山 邦夫
増山工業(株)



増渕 勝明
株増渕組



松本 友一
有松本工務店



荒井 恭一
株丸あ組



星 豪紀
マルホ建設(株)



丸山 隆重
丸山重機(株)



菊池 祥一
山本建設(株)



吉澤 定男
吉沢建設(株)



亀和田 薫
米弥工業(株)



和知 孝道
渡辺建設(株)

1. 栃木県アスファルト合材協会 定時総会

令和元年5月9日、宇都宮市内の「ホテルニューイタヤ」において、定時総会を開催いたしました。

磯部尚士会長挨拶後、議事に入り平成30年度の事業報告・収支決算及び令和元年度の事業計画・収支予算案について審議され、いずれも原案通り可決承認されました。



栃木県アスファルト合材協会会長挨拶

令和元年度 栃木県アスファルト合材協会役員

役職	氏名	会社名
会長	磯部 尚士	磯部建設(株)
副会長	川上 清	瑞穂瀝青工業(株)
理事	伊藤 央	世紀東急工業(株)佐野混合所
理事	太刀川 益弘	東武道路工業(株)
理事	小林 徹郎	光洋建設(株)
理事	相澤 満伸	前田道路(株)栃木合材工場
理事	山下 裕司	栃木共同アスコン(株)
監事	重高 克彦	(株)浜屋組
監事	野中 武司	日本道路(株)栃木合材センター
相談役	増淵 秋雄	元栃木県アスファルト合材協会会長
相談役	岩見 高士	前栃木県アスファルト合材協会会長
相談役	板橋 一衛	栃木県アスファルト合材協会



懇親会風景

2. 一般社団法人日本アスファルト合材協会 北関東ブロック連絡協議会第31回大会

令和元年7月23日から群馬県の伊香保温泉福一において、第31回北関東ブロック連絡協議会が開催され、本県から磯部尚士会長をはじめ7名の役員及び相談役と各委員会から4名が参加しました。

協議会は、茨城、栃木、群馬の三県で構成され、持ち回りで大会を開催しておりますが、本年度は、群馬県が担当でした。

大会スローガンは、

1. よく見て確認!はつきり連絡!作業前の再確認!
2. 気兼ねなく休める環境わが職場
3. 品質と未来を繋ぐ道づくり



北関東連絡協議会



協議会出席者

栃木県アスファルト合材協会 会員名簿

会社名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
磯部建設(株)	代表取締役	磯部 尚士	0288-22-5111	0288-22-6222	〒321-1261 日光市今市1525
岩澤建設(株)	代表取締役社長	岩澤 理夫	0284-70-3111	0284-70-3000	〒326-0324 足利市久保田町564-1
(株)宇都宮アスコン	代表取締役	瀬戸 雅淑	028-662-7900	028-662-1281	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地16-2
大林道路(株) 栃木アスファルト混合所	所 長	石村 真二	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
鹿島道路(株) 栃木アスコン	所 長	西井 祐二	0282-82-7350	0282-82-7337	〒321-0221 壬生町藤井字吾妻1052
光洋建設(株)	取締役副社長	小林 徹郎	0285-23-1165	0285-23-1441	〒323-0014 小山市喜沢689
世紀東急工業(株) 佐野混合所	所 長	伊藤 央	0283-24-3618	0283-20-1260	〒327-0811 佐野市関川町580
東武道路工業(株)	専務取締役	太刀川益弘	0288-27-1155	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃木北アスコン(株)	代表取締役	青木 東雄	0287-45-1125	0287-45-0727	〒329-2221 塩谷郡塩谷町玉生1820
栃木共同アスコン(株)	代表取締役	山下 裕司	0282-82-2011	0282-82-6699	〒321-0219 下都賀郡壬生町福和田1013-1
栃木県北アスコン(株)	代表取締役	岩見 武	0287-62-3101	0287-62-3557	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1492-2
ナスアスコン(株)	代表取締役	高松 芳樹	0287-36-7121	0287-36-8831	〒329-2745 那須塩原市三区町627-80
日本道路(株) 栃木合材センター	所 長	野中 武司	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
(株)浜屋組	取締役資材部長	重高 克彦	0287-43-1181	0287-43-1184	〒329-2164 矢板市本町12-6
(有)富士川産業	代表取締役	田村 富一	0285-25-2080	0285-23-0723	〒323-0808 小山市出井1970-2
前田道路(株) 栃木合材工場	工場長	相澤 満伸	0285-48-5211	0285-48-2011	〒323-0113 下野市上坪山127-1
丸山重機(株)	代表取締役	丸山 隆重	0287-65-2311	0287-65-2314	〒329-3157 那須塩原市大原間西1-7-5
瑞穂瀝青工業(株)	代表取締役	川上 清	028-656-5676	028-656-5677	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-8-1
山本建設(株)	代表取締役社長	菊池 祥一	028-635-6151	028-635-6255	〒320-0864 宇都宮市住吉町19-14
渡辺建設(株)	取締役会長	和知 孝道	028-661-5551	028-662-9562	〒321-0961 宇都宮市今泉新町180

栃木県アスファルト合材協会 「毎月第2土曜日・日曜日連続休業」

(令和元年10月1日現在)

栃木県アスファルト合材協会 工場一覧

工場名	代表者		TEL	FAX	所在地
	役職	氏名			
磯部建設(株) アスファルト合材工場	工場長	藍原 雅人	0288-26-3273	0288-26-3190	〒321-2331 日光市針貝字茅場1071-10
宇都宮アスコン (前田道路(株)・(株)宇都宮アスコン)	所長	相澤 満伸	028-662-7900	028-662-1281	〒321-0905 宇都宮市平出工業団地16-2
光洋建設(株) 小山合材工場	取締役副社長	小林 徹郎	0285-27-5411	0285-27-6657	〒323-0817 小山市東野田2280-4
東武道路工業(株)	工場長	西村 光幸	0288-27-1217	0288-27-0584	〒321-1102 日光市板橋西原3287-1
栃木アスコン (鹿島道路(株))	所長	西井 祐二	0282-82-7350	0282-82-7337	〒321-0221 壬生町藤井字吾妻1052
栃木北アスコン(株)	代表取締役	青木 東雄	0287-45-1125	0287-45-0727	〒329-2221 塩谷郡塩谷町玉生1820
栃木共同アスコン(株)・渡辺建設(株) 栃木工場	代表取締役	山下 裕司	0282-82-2011	0282-82-6699	〒321-0219 下都賀郡壬生町福和田1013-1
栃木県北アスコン(株)	工場長	中村 信明	0287-62-3101	0287-62-3557	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1492-2
栃木合材センター (日本道路(株)・大林道路(株)・山本建設(株))	所長	野中 武司	0289-75-3156	0289-75-1184	〒322-0018 鹿沼市池の森555-17
ナスアスコン(株)	代表取締役	高松 芳樹	0287-36-7121	0287-36-8831	〒329-2745 那須塩原市三区町627-80
那須合材センター (日本道路(株)・丸山重機(株))	所長	梅原 由孝	0287-65-3452	0287-65-3477	〒329-3155 那須塩原市笹沼字中島原453-10
(株)浜屋組 アスファルト合材工場	合材部長	内藤 淳	0287-43-1818	0287-43-1818	〒329-2122 矢板市針生365
(有)富士川産業	代表取締役	田村 富一	0285-25-2080	0285-20-6021	〒323-0808 小山市出井1970-2
前田道路(株) 栃木合材工場	工場長	相澤 満伸	0285-48-5211	0285-48-2011	〒323-0113 下野市上坪山127-1
瑞穂瀝青工業(株)	工場長	青木 崇	028-656-5676	028-656-5677	〒321-0921 宇都宮市瑞穂3-8-1
両毛アスコン (世紀東急工業(株)・岩澤建設(株))	所長	伊藤 央	0283-24-3618	0283-20-1260	〒327-0811 佐野市関川町580
渡辺建設(株)・栃木共同アスコン(株) 宇都宮工場	代表取締役	山下 裕司	028-661-5253	028-663-5477	〒321-0901 宇都宮市平出町橋場3081